

保護者の皆様

横浜市立鳴志田中学校
校長 大山 憲

令和5年度 横浜市中学校学力・学習状況調査のまとめ

向寒の候、保護者の皆様には益々ご健勝のことと拝察いたします。

先日、4月に行われました横浜市学力・学習状況調査の結果（個票）を、お子様に返却いたしました。各学年、教科のデータ全般について、本校としてのまとめをいたしましたので、ご報告させていただきます。

< 調査の概要 >

1. 調査の目的

生徒の令和5年度の「学力」や学習状況を把握することで、各学校における授業改善や、生徒の学習改善につなげる。

2. 調査日

令和5年4月27日（木）

3. 時 程

1校時	国語	9:10～	9:50
2校時	数学	10:10～	10:50
3校時	理科	11:10～	11:50
4校時	社会	12:10～	12:50
		昼食・昼休み	
5校時	英語	13:45～	14:25

※ 英語は、聞き取りテスト（各学年10～15分）を含む。

※ 8～16ページの「生活意識調査」クロス集計の見方

例えば、8ページの1年生の設問1「朝ごはんを毎日食べていますか。」という問いに対して、本校では80.4%の生徒が「毎日食べる」と回答し、それらの生徒の5教科総合の平均通過率（平均点）が73.6%であったことを示しています。同様に、横浜市全体では、81.6%の生徒が「毎日食べる」と回答し、それらの生徒の5教科総合の平均通過率（平均点）が71.4%であったことを示しています。

観点別、領域別(分野別)正答率

鴨志田中学校1年

<国語>

観点	知識・技能				思考・判断・表現				教科全体の正答率
	説明的な文章	文学的な文章	情報活用	平均	説明的な文章	文学的な文章	情報活用	平均	
1年	73.5%	70.6%	37.1%	66.5%	59.2%	88.3%	86.6%	69.6%	68.5%
市平均	73.9%	69.3%	36.0%	66.0%	54.0%	79.3%	71.0%	62.4%	63.7%

領域	説明的な文章				文学的な文章				情報活用			教科全体の正答率
	知識・技能	思考・判断・表現	平均	知識・技能	思考・判断・表現	平均	知識・技能	思考・判断・表現	平均			
1年	73.5%	59.2%	63.5%	70.6%	88.3%	81.2%	37.1%	86.6%	61.9%	68.5%		
市平均	73.9%	54.0%	60.0%	69.3%	79.3%	75.3%	36.0%	71.0%	53.5%	63.7%		

<社会>

観点	知識・技能				思考・判断・表現				教科全体の正答率
	位置や空間的な広がり	時期や時間の経過	事象や人々の相互関係	平均	位置や空間的な広がり	時期や時間の経過	事象や人々の相互関係	平均	
1年	69.6%	74.1%	71.6%	72.3%	53.1%	-	79.5%	73.7%	72.8%
市平均	68.9%	72.7%	68.8%	70.3%	45.8%	-	75.0%	68.5%	69.7%

領域	位置や空間的な広がり			時期や時間の経過			事象や人々の相互関係			教科全体の正答率
	知識・技能	思考・判断・表現	平均	知識・技能	思考・判断・表現	平均	知識・技能	思考・判断・表現	平均	
1年	69.6%	53.1%	61.3%	74.1%	-	74.1%	71.6%	79.5%	75.1%	72.8%
市平均	68.9%	45.8%	57.4%	72.7%	-	72.7%	68.8%	75.0%	71.5%	69.7%

<数学>

観点	知識・技能								思考・判断・表現								教科全体の正答率
	数	式	平面図形	空間図形	関数	統計	確率	平均	数	式	平面図形	空間図形	関数	統計	確率	平均	
1年	87.6%	43.3%	44.8%	92.8%	62.9%	75.3%	58.8%	63.8%	53.6%	78.4%	32.0%	37.1%	49.5%	48.5%	57.7%	48.6%	56.2%
市平均	85.3%	38.2%	41.5%	86.5%	48.9%	76.1%	62.7%	60.1%	55.2%	75.1%	32.3%	35.1%	52.2%	47.2%	60.8%	48.8%	54.4%

領域	数			式			平面図形			空間図形			教科全体の正答率
	知識・技能	思考・判断・表現	平均	知識・技能	思考・判断・表現	平均	知識・技能	思考・判断・表現	平均	知識・技能	思考・判断・表現	平均	
1年	87.6%	53.6%	70.6%	43.3%	78.4%	60.8%	44.8%	32.0%	38.4%	92.8%	37.1%	64.9%	56.2%
市平均	85.3%	55.2%	70.3%	38.2%	75.1%	56.6%	41.5%	32.3%	36.9%	86.5%	35.1%	60.8%	54.4%

領域	関数			統計			確率			教科全体の正答率
	知識・技能	思考・判断・表現	平均	知識・技能	思考・判断・表現	平均	知識・技能	思考・判断・表現	平均	
1年	62.9%	49.5%	56.2%	75.3%	48.5%	61.9%	58.8%	57.7%	58.2%	56.2%
市平均	48.9%	52.2%	50.6%	76.1%	47.2%	61.7%	62.7%	60.8%	61.7%	54.4%

<理科>

観点	知識・技能					思考・判断・表現					教科全体の正答率
	エネルギー	粒子	生命	地球	平均	エネルギー	粒子	生命	地球	平均	
1年	56.4%	79.4%	93.8%	78.7%	72.9%	71.1%	45.7%	76.3%	13.4%	57.4%	65.5%
市平均	55.4%	77.5%	92.8%	75.8%	71.2%	71.2%	47.4%	75.6%	14.6%	58.0%	64.9%

領域	エネルギー			粒子			生命			地球			教科全体の正答率
	知識・技能	思考・判断・表現	平均	知識・技能	思考・判断・表現	平均	知識・技能	思考・判断・表現	平均	知識・技能	思考・判断・表現	平均	
1年	56.4%	71.1%	62.7%	79.4%	45.7%	54.1%	93.8%	76.3%	85.1%	78.7%	13.4%	62.4%	65.5%
市平均	55.4%	71.2%	62.2%	77.5%	47.4%	54.9%	92.8%	75.6%	84.2%	75.8%	14.6%	60.5%	64.9%

<外国語>

観点	知識・技能				思考・判断・表現				教科全体の正答率
	聞くこと	読むこと	書くこと	平均	聞くこと	読むこと	書くこと	平均	
1年	96.1%	94.5%	89.7%	94.8%	88.8%	90.0%	77.0%	86.2%	90.8%
市平均	92.2%	92.7%	88.4%	91.7%	86.5%	83.9%	74.6%	82.9%	87.6%

領域	聞くこと			読むこと			書くこと			教科全体の正答率
	知識・技能	思考・判断・表現	平均	知識・技能	思考・判断・表現	平均	知識・技能	思考・判断・表現	平均	
1年	96.1%	88.8%	93.2%	94.5%	90.0%	92.3%	89.7%	77.0%	82.1%	90.8%
市平均	92.2%	86.5%	89.9%	92.7%	83.9%	88.3%	88.4%	74.6%	80.1%	87.6%

本校の結果分析と改善点について〔1年〕

国 語	結果の分析	多くの設問で市の平均を上回り、自分の考えをまとめて書く問題では市の平均を10ポイント以上上回る結果となりました。しかし、その中でも、漢字や語句などの知識技能の観点でやや平均を下回っている問題も見られます。漢字や語句を覚えて、使いこなすというところが課題のようです。
	指導の改善	漢字や語句など基礎基本の分野については、今後も授業内での漢字テストを通し、細かな取組を重ねていきたいと思えます。また、漢字や語句を使う機会を増やすために、一年間を通して、熟語を用いて短文を作る課題に取り組み、さらに着実な力の定着を目指していきたいと思えます。
社 会	結果の分析	多くの設問で市の平均通過率を上回っていますが、歴史、公民分野の知識・技能の観点で下回っている問題も見られます。特に技能の観点を問う問題に低い傾向が見られます。表や統計などの資料から読み取る問題への対応が課題のようです。また、思考・判断・表現の観点では、地理、歴史、公民の3分野共に市の平均通過率を上回っています。
	指導の改善	市の平均通過率を下回っている問題としては、知識・技能の観点の中の技能の部分です。資料を適切に分析して答えを出す作業が少し苦手の様です。改善策としては、授業内でも表や図、統計などを積極的に利用しながら考察していく時間を増やし、効果的に技能の能力を伸ばしていきます。また、考察するために必要な基礎知識の定着も授業内で進めていきます。
数 学	結果の分析	知識や計算能力を問われるような設問では市の平均を上回っていますが、数学的な活用を必要とする設問については市の平均を下回る問題がありました。これは解法だけ覚えているが解くまでの過程やその根拠について考える力がついていないことが原因と考えられます。
	指導の改善	普段の授業から計算系の小テストを行っていることが数学的な技能分野での正答率が高くなっている要因と考えられます。その一方で活用問題が解けていないので、身につけた知識技能を活かす力を身につけさせるためにも、思考力を問われる問題の演習量を確保することや、与えられた課題に対してどのように解決していくのか生徒自身で考える場を増やしていきます。
理 科	結果の分析	教科全体としては、市の平均通過率を若干上回る結果となりましたが、分野によっては市と比較して5ポイント程度も下回っている設問もあります。また、観点別では「思考・判断・表現」の通過率が全般に低い傾向があります。今回は、小学校までの習得内容が出題範囲でしたが、具体的には、「電気の利用に関する追求」や、「ろうそくを燃やす前後の気体の変化」についての内容に課題があることがわかりました。
	指導の改善	教科に関する意識調査では、観察や実験を通しての問題解決への意識が、市の平均に比べて低い傾向が見られました。理科の授業における実験や観察で得られた結果やその考察から、身の回りの課題へと結びつけていく力の育成が必要であると考えられます。授業の中で身近な事象を意識できるような発問をしたり、授業プリントの表現の仕方を工夫したりして、子どもが自ら課題を見つけ、それを解決していける思考力を伸ばしていきます。
英 語	結果の分析	教科全体として、市の平均を4～5ポイントほど上回り、正答率がとても高い結果となりました。特に、「読むこと」「聞くこと」は市の平均を上回った結果が出ました。「書くこと」の分野については市の平均とほぼ同じでしたが、正答率が低い傾向が見られました。自分の気持ちを英語で表現することに焦点を当て、英作文に力をいれることが今後の課題であると考えます。
	指導の改善	分野別での結果も全て市の平均を上回っています。聞くこと・読むことの力については、5ポイントほど上回っていますが、筆記の分野を見ると、1ポイントの差となっています。今回の結果から、今後の英語の授業では、自分が伝えたいことや話したいことなどを思考し、英語で書く力を育成する必要があると考えられます。授業プリントや課題を工夫し、主体的に思考し英語で文章を書く力を伸ばしていきます。

観点別、領域別(分野別)正答率

鴨志田中学校2年

<国語>

観点	知識・技能				思考・判断・表現				教科全体の正答率
	説明的な文章	文学的な文章	情報活用	平均	説明的な文章	文学的な文章	情報活用	平均	
2年	74.7%	60.9%	65.4%	69.4%	64.3%	74.8%	61.5%	67.2%	68.1%
市平均	74.8%	64.0%	72.6%	71.4%	61.3%	77.3%	54.2%	65.4%	67.9%

領域	説明的な文章			文学的な文章			情報活用			教科全体の正答率
	知識・技能	思考・判断・表現	平均	知識・技能	思考・判断・表現	平均	知識・技能	思考・判断・表現	平均	
2年	74.7%	64.3%	68.5%	60.9%	74.8%	69.2%	65.4%	61.5%	63.5%	68.1%
市平均	74.8%	61.3%	66.7%	64.0%	77.3%	72.0%	72.6%	54.2%	63.4%	67.9%

<社会>

観点	知識・技能				思考・判断・表現				教科全体の正答率
	位置や空間的な広がりからの発展	時期や時間の経過からの発展	事象や人々の相互関係からの発展	平均	位置や空間的な広がりからの発展	時期や時間の経過からの発展	事象や人々の相互関係からの発展	平均	
2年	55.5%	67.5%	62.8%	59.6%	53.2%	60.6%	68.8%	60.9%	60.0%
市平均	58.6%	67.9%	63.9%	61.7%	51.4%	57.7%	67.7%	59.0%	60.8%

領域	位置や空間的な広がりからの発展			時期や時間の経過からの発展			事象や人々の相互関係からの発展			教科全体の正答率
	知識・技能	思考・判断・表現	平均	知識・技能	思考・判断・表現	平均	知識・技能	思考・判断・表現	平均	
2年	55.5%	53.2%	55.1%	67.5%	60.6%	64.9%	62.8%	68.8%	65.8%	60.0%
市平均	58.6%	51.4%	57.1%	67.9%	57.7%	64.2%	63.9%	67.7%	65.8%	60.8%

<数学>

観点	知識・技能								思考・判断・表現								教科全体の正答率
	式	平面図形	空間図形	関数	統計	確率	平均	式	平面図形	空間図形	関数	統計	確率	平均			
2年	64.9%	81.8%	64.9%	62.3%	71.4%	29.9%	64.9%	49.4%	48.5%	51.9%	61.5%	50.6%	16.9%	49.9%	56.5%		
市平均	64.3%	76.7%	63.5%	68.2%	79.3%	28.4%	65.2%	49.6%	49.2%	49.0%	60.7%	51.6%	14.1%	49.4%	56.3%		

領域	式		平面図形			空間図形			関数			統計			確率			教科全体の正答率	
	知識・技能	思考・判断・表現	平均	知識・技能	思考・判断・表現	平均	知識・技能	思考・判断・表現	平均	知識・技能	思考・判断・表現	平均	知識・技能	思考・判断・表現	平均	知識・技能	思考・判断・表現		平均
2年	64.9%	49.4%	54.5%	81.8%	48.5%	61.8%	64.9%	51.9%	59.7%	62.3%	61.5%	61.8%	71.4%	50.6%	61.0%	29.9%	16.9%	23.4%	56.5%
市平均	64.3%	49.6%	54.5%	76.7%	49.2%	60.2%	63.5%	49.0%	57.7%	68.2%	60.7%	63.7%	79.3%	51.6%	65.5%	28.4%	14.1%	21.3%	56.3%

<理科>

観点	知識・技能					思考・判断・表現					教科全体の正答率
	エネルギー	粒子	生命	地球	平均	エネルギー	粒子	生命	地球	平均	
2年	61.8%	45.8%	76.4%	73.1%	65.4%	56.5%	51.9%	70.8%	77.9%	62.2%	64.5%
市平均	66.6%	45.8%	78.1%	73.4%	67.3%	57.6%	41.4%	71.2%	70.6%	60.6%	65.3%

領域	エネルギー			粒子			生命			地球			教科全体の正答率
	知識・技能	思考・判断・表現	平均	知識・技能	思考・判断・表現	平均	知識・技能	思考・判断・表現	平均	知識・技能	思考・判断・表現	平均	
2年	61.8%	56.5%	59.5%	45.8%	51.9%	47.0%	76.4%	70.8%	75.0%	73.1%	77.9%	74.0%	64.5%
市平均	66.6%	57.6%	62.6%	45.8%	41.4%	44.9%	78.1%	71.2%	76.4%	73.4%	70.6%	72.8%	65.3%

<外国語>

観点	知識・技能				思考・判断・表現				教科全体の正答率
	聞くこと	読むこと	書くこと	平均	聞くこと	読むこと	書くこと	平均	
2年	88.6%	78.2%	-	82.8%	72.2%	77.3%	34.4%	70.1%	74.5%
市平均	87.2%	78.1%	-	82.1%	68.1%	77.2%	45.0%	69.7%	74.0%

領域	聞くこと			読むこと			書くこと			教科全体の正答率
	知識・技能	思考・判断・表現	平均	知識・技能	思考・判断・表現	平均	知識・技能	思考・判断・表現	平均	
2年	88.6%	72.2%	78.2%	78.2%	77.3%	77.6%	-	34.4%	34.4%	74.5%
市平均	87.2%	68.1%	75.1%	78.1%	77.2%	77.5%	-	45.0%	45.0%	74.0%

本校の結果分析と改善点について〔2年〕

国語	結果の分析	全体的には多少市の平均を上回っています。しかし、情報活用の「思考・判断・表現」は市の平均よりかなり高かったものの、「知識・技能」は市の平均を下回っています。情報の単元を後回しにしていた結果が表れていると思われます。また、「説明的な文章」の読み取りはよかった反面、「文学的な文章」の物語などから、登場人物の心情を読解やする観点では市の平均を下回っていることから、人の気持ちを想像する力を養っていくことも肝心と考えられます。
	指導の改善	情報化の進展に伴って、膨大な資料を正確に判断し、自分の考えをまとめる力は重要です。情報活用の知識を増やし、時代に対応した学習を積み重ねる必要があります。また、物語の登場人物に感情移入し、感じる心・考える心・想像する心を養うために、授業ではじっくりと考える時間の確保をしていきたいと思います。更に意見文などを書く中で、思考力と共に表現力にも力を入れ、国語力アップを目指します。
社会	結果の分析	地理的分野、歴史的分野による到達度に大きな差はなく、市の平均と比べても特筆すべき特徴はないといえます。知識・技能と思考・判断・表現の正答率にも大きな差はなく、思考・判断・表現が若干高いところを見ると、思考力もあることがわかります。
	指導の改善	関心・意欲をもち、探究する姿勢があり、考える力も一定程度あることから、基本的な社会事象の知識と社会の課題を探究する思考力がつながっていることを意識させる指導が必要であると考えます。社会的な事柄の意味を理解し整理する場面と、疑問や問いから話し合い議論する活動（紙上での意見交換も含め）を組み合わせる工夫を、これまで以上に追究していきたいと思えます。
数学	結果の分析	全体では若干市平均を上回っています。観点別に正答率をみると知識・技能はやや下回っていますが、思考・判断・表現は上回っている傾向があります。領域で見ると、式や関数を扱う分野がやや低い傾向があります。統計に関しては、全体的に正答率が低い傾向が顕著にみられました。図形に関しては比較的市平均を上回っています。
	指導の改善	主体的に問題に取り組み、思考や表現しようとする一方で、基本的な知識や技能が定着していないといえます。探究的な活動を大切にしつつ、基本的な計算技能の定着をはかります。学習内容を丁寧に解説し、練習問題に取り組んだ上で、振り返りの小テストや小問を行い繰り返し学習を行う機会を増やします。
理科	結果の分析	全体として知識・技能は市の平均を下回っていますが、思考・判断・表現は市の平均を上回っています。粒子・地球の単元は市の平均を上回っていますが、エネルギーの単元は市の平均を下回っていました。「誤差を考えたグラフの書き方を理解している」問題では正答率が市の平均を10ポイント以上下回っていますが、「水溶液から溶質を取り出す実験を行い、その結果と溶解度曲線の関係性を見出す」問題では市の平均を10ポイント上回っており、グラフの読み取りはできますが、正確にグラフ作成には課題があることがわかります。用語などの知識の定着を図ることでさらに学力が向上すると考えられます。
	指導の改善	エネルギーの単元の正答率が低いので、既習内容の復習から時間をかけて丁寧な授業展開を行います。実験のねらい、考察を意識し、演習や復習の時間を増やした授業展開を行います。難しい概念を扱う単元は特に知識の定着に時間をかけていきたいと思えます。
英語	結果の分析	聞くことについては、小学校の外国語で蓄えた力に加え、昨年度の活動の効果が現れています。読むことについても、昨年度のリーディングの活動の効果が表れています。書くことについては、おそらく活動量が足りていないと感じています。
	指導の改善	読むことや書くことは全体の情報をとらえなくても問題にかかわる周辺情報がつかめれば、大方は正解します。それに対して書くことは、話したり書いたりする活動を常日頃から繰り返し行わないと力がつかないので、授業内で話す活動と各活動をたくさん行っていきます。また、話せるよう、書けるようになるためには、生徒自身が基本フレーズをインプットしていることが大前提になってくるので、基本フレーズをたくさんインプットしていきたいと思えます。

観点別、領域別(分野別)正答率

鴨志田中学校3年

<国語>

観点	知識・技能				思考・判断・表現				教科全体の正答率
	説明的な文章	文学的な文章	情報活用	平均	説明的な文章	文学的な文章	情報活用	平均	
3年	65.9%	73.2%	60.9%	67.3%	70.0%	71.0%	66.7%	70.0%	68.9%
市平均	61.6%	74.7%	63.1%	65.5%	73.7%	74.8%	46.1%	71.2%	68.9%

領域	説明的な文章			文学的な文章			情報活用			教科全体の正答率
	知識・技能	思考・判断・表現	平均	知識・技能	思考・判断・表現	平均	知識・技能	思考・判断・表現	平均	
3年	65.9%	70.0%	68.4%	73.2%	71.0%	71.9%	60.9%	66.7%	63.8%	68.9%
市平均	61.6%	73.7%	68.8%	74.7%	74.8%	74.7%	63.1%	46.1%	54.6%	68.9%

<社会>

観点	知識・技能				思考・判断・表現				教科全体の正答率
	位置や空間的な広がりからの発展	時期や時間の経過からの発展	事象や人々の相互関係からの発展	平均	位置や空間的な広がりからの発展	時期や時間の経過からの発展	事象や人々の相互関係からの発展	平均	
3年	59.6%	59.6%	62.9%	59.8%	64.3%	58.6%	48.1%	56.5%	58.9%
市平均	61.3%	62.8%	65.8%	62.1%	65.0%	53.6%	42.8%	53.8%	60.0%

領域	位置や空間的な広がりからの発展			時期や時間の経過からの発展			事象や人々の相互関係からの発展			教科全体の正答率
	知識・技能	思考・判断・表現	平均	知識・技能	思考・判断・表現	平均	知識・技能	思考・判断・表現	平均	
3年	59.6%	64.3%	60.6%	59.6%	58.6%	59.5%	62.9%	48.1%	51.8%	58.9%
市平均	61.3%	65.0%	62.1%	62.8%	53.6%	61.7%	65.8%	42.8%	48.3%	60.0%

<数学>

観点	知識・技能						思考・判断・表現						教科全体の正答率
	式	平面図形	関数	統計	確率	平均	式	平面図形	関数	統計	確率	平均	
3年	72.4%	68.2%	73.6%	70.0%	45.7%	68.6%	49.8%	67.1%	68.2%	68.6%	32.9%	58.4%	62.9%
市平均	70.8%	70.2%	73.0%	70.6%	39.9%	68.4%	47.3%	66.8%	69.5%	61.6%	45.5%	57.6%	62.4%

領域	式			平面図形			関数			統計			確率			教科全体の正答率
	知識・技能	思考・判断・表現	平均	知識・技能	思考・判断・表現	平均	知識・技能	思考・判断・表現	平均	知識・技能	思考・判断・表現	平均	知識・技能	思考・判断・表現	平均	
3年	72.4%	49.8%	57.3%	68.2%	67.1%	67.9%	73.6%	68.2%	70.0%	70.0%	68.6%	69.3%	45.7%	32.9%	39.3%	62.9%
市平均	70.8%	47.3%	55.1%	70.2%	66.8%	69.1%	73.0%	69.5%	70.7%	70.6%	61.6%	66.1%	39.9%	45.5%	42.7%	62.4%

<理科>

観点	知識・技能					思考・判断・表現					教科全体の正答率
	エネルギー	粒子	生命	地球	平均	エネルギー	粒子	生命	地球	平均	
3年	57.5%	52.1%	63.6%	55.2%	56.2%	39.3%	38.6%	63.8%	66.4%	55.2%	56.0%
市平均	62.3%	59.7%	70.2%	59.4%	61.5%	42.8%	44.8%	58.1%	64.2%	54.1%	59.5%

領域	エネルギー			粒子			生命			地球			教科全体の正答率
	知識・技能	思考・判断・表現	平均	知識・技能	思考・判断・表現	平均	知識・技能	思考・判断・表現	平均	知識・技能	思考・判断・表現	平均	
3年	57.5%	39.3%	53.9%	52.1%	38.6%	49.4%	63.6%	63.8%	63.7%	55.2%	66.4%	57.4%	56.0%
市平均	62.3%	42.8%	58.4%	59.7%	44.8%	56.7%	70.2%	58.1%	62.9%	59.4%	64.2%	60.4%	59.5%

<外国語>

観点	知識・技能				思考・判断・表現				教科全体の正答率
	聞くこと	読むこと	書くこと	平均	聞くこと	読むこと	書くこと	平均	
3年	85.0%	72.4%	-	75.2%	69.4%	75.7%	39.3%	68.8%	71.0%
市平均	78.5%	70.3%	-	72.1%	67.9%	76.8%	33.1%	68.0%	69.4%

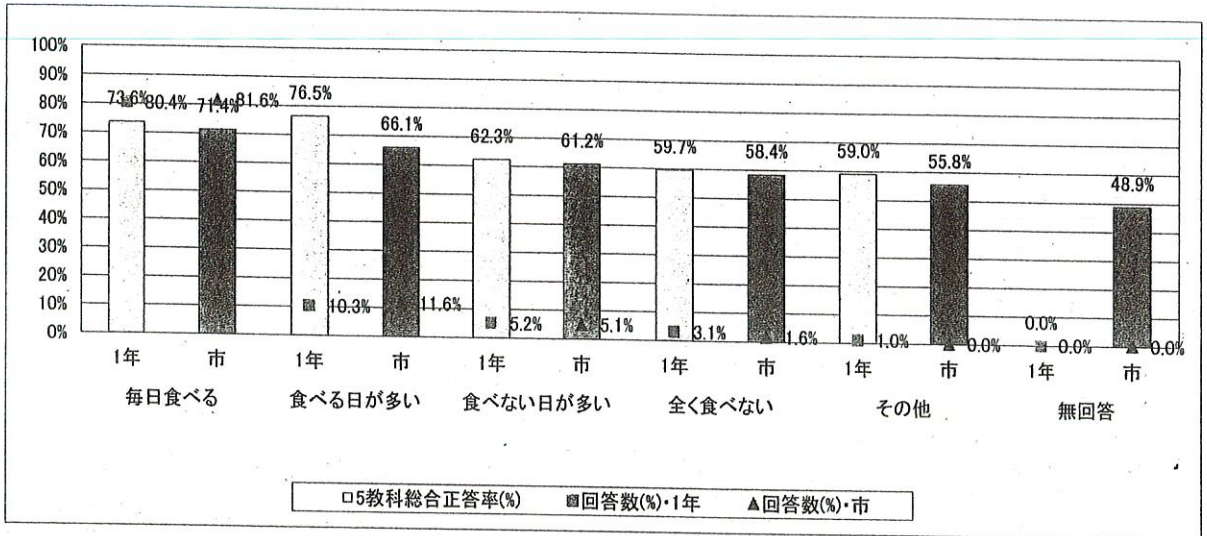
領域	聞くこと			読むこと			書くこと			教科全体の正答率
	知識・技能	思考・判断・表現	平均	知識・技能	思考・判断・表現	平均	知識・技能	思考・判断・表現	平均	
3年	85.0%	69.4%	72.9%	72.4%	75.7%	74.2%	-	39.3%	39.3%	71.0%
市平均	78.5%	67.9%	70.2%	70.3%	76.8%	73.7%	-	33.1%	33.1%	69.4%

本校の結果分析と改善点について〔3年〕

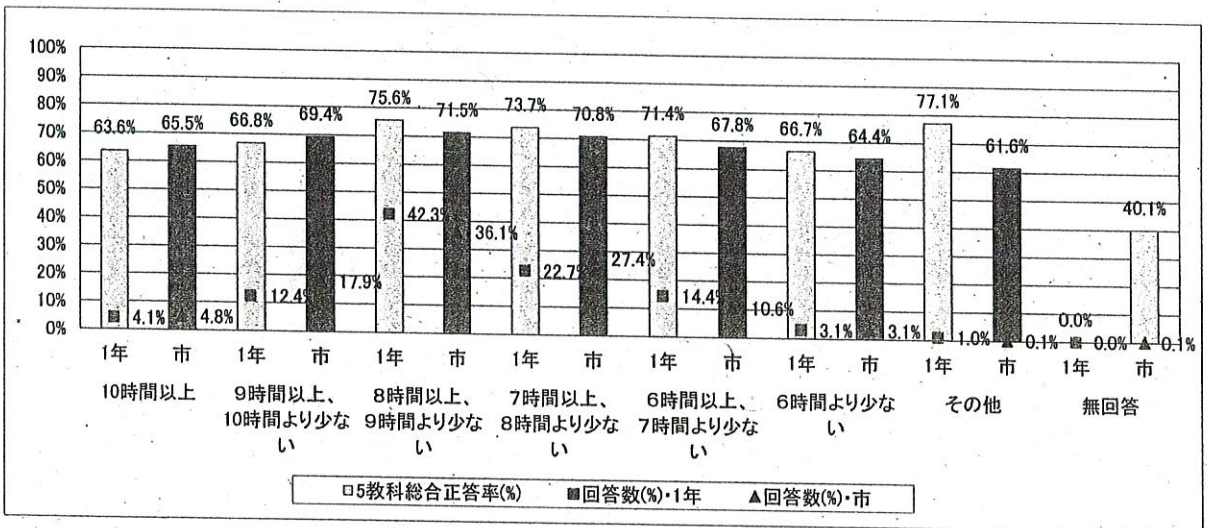
国 語	結果の分析	全体的には市の平均と同じです。漢字や語句については、市の平均を上回っている部分もあります。これまで取り組んできた基礎学力の定着するための課題の成果と思われます。また、情報活用の「思考・判断・表現」は市の平均よりかなり高かった反面、「知識・技能」は市の平均を多少下回っています。更に時代に対応した知識を積み重ねる必要があると考えます。文学的な文章の中の登場人物の心情を読解やする観点では市の平均を下回っていることから、人の気持ちを想像する力を養っていくことも肝心と考えられます。
	指導の改善	応用問題の読解力アップの方法の一つとして、まず長い文章に慣れること、またその文章の行間を読み取り、自分の知識や経験から答えを導き出すことが挙げられます。授業内で、受験の出題例などから、具体的な読解のポイントを指導して、国語力のアップを目指します。特に物語の登場人物には感情移入し、感じる心・考える心・想像する心を養うことにも重きをおいて指導していきたいと考えます。
社 会	結果の分析	教科全体の正答率は、市の平均を下回っています。特に、1・2年生で扱った地理的分野・歴史的分野の「知識・技能」の観点が市の平均を下回っています。履修してから時間が経ち、記憶が曖昧になっていることが原因だと考えられます。一方で、「思考・判断・表現」の観点では市の平均を上回っています。普段の授業や定期試験でも重きをおいて取り組んでおり、考える力が身につけていると考えます。
	指導の改善	今回の調査を受け、「知識・技能」の観点においては、既習範囲の定期的な復習を行ってまいります。履修してから時間が経つと、知識はどうしても忘れてしまいますので、学習している内容と合わせながら復習を進め、改善を図ります。また、「思考・判断・表現」の観点については、普段からの取り組みの成果が出ていると考えております。今後とも授業の中で生徒自身が考える時間を十分に確保してまいります。
数 学	結果の分析	数学に対する関心・意識は高い傾向にあります。多くの設問で市の平均を超えていますが、確立の分野、図形の分野で平均を下回り、ここに課題があることが分かりました。図形に関しては、基礎的な定理・定義の理解できておらず、理論的に説明、証明する力がまだ身につけていないと考えられます。確率では基本的な知識は身につけていますが、それを利用・活用する方法を伸ばせば良いと考えます。
	指導の改善	文章の長い問題の正答率が低くなる傾向があります。基礎的な知識は身につけているので、問題をしっかり読み、何が課題となっているかを理解し、今まで学習した内容をいかに利用・活用するかなど、課題解決のための思考の流れの習得を授業の中で実践します。
理 科	結果の分析	全体として知識・技能は市の平均を下回っていますが、思考・判断・表現は市の平均を上回っています。エネルギー、粒子の単元は全体的に市の平均より低いです。単元の学習前に既習内容の復習や時間をかけ丁寧に学習を進めていく必要があります。持っている知識をもとに考えを広げていく力があり、基礎的な知識の定着があることでより学力が向上すると考えています。
	指導の改善	知識の定着に時間がかかる単元は演習や復習の時間を増やした授業展開を行います。電流、物質の単元は時間をかけて繰り返し学習を進め、実験のねらい、考察を意識した授業展開を行うことで、基礎基本の定着を図りたいと思います。
英 語	結果の分析	「聞くこと」「読むこと」では、市全体として高い正答率を示しており、さらに本校ではそれを上回っています。しかし、様々なインタビューを聞いたり、web ページの記事、英語チラシなどを読み取ったりすることに関しては市平均を下回る設問もありました。「書くこと」に関しては、市平均正答率より本校は6ポイントほど高い結果を示していますが、書くことに抵抗を感じる生徒が一定数いることもまたわかります。
	指導の改善	「聞く」「話す」に関しては、力をさらに高めていくためにも継続してコミュニケーション活動を行います。「読む」力を高めていくため、多様な媒体の文章にふれる機会をできるだけ増やします。「書く」ことに関しては、「自分の考え」を英語で書く習慣づけを行いながら、自分の意思を他者に伝える力を伸ばしていく手段として、Retelling (言い換え) rewriting(書き換え)を授業のなかで実践します。

令和5年度 生活意識調査クロス集計 (鴨志田中学校1年)

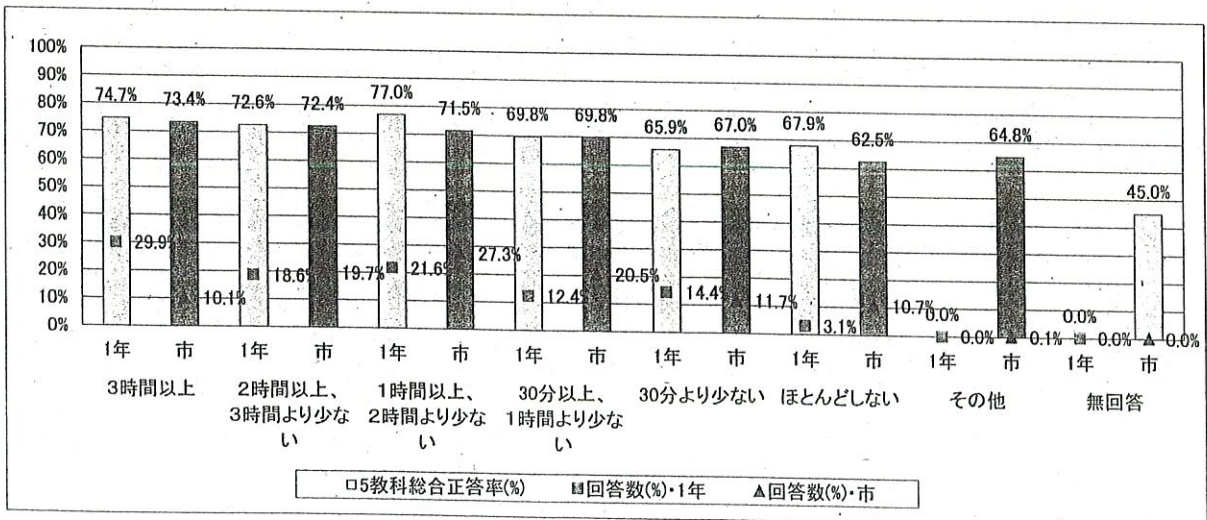
1 朝ごはんを毎日食べていますか。



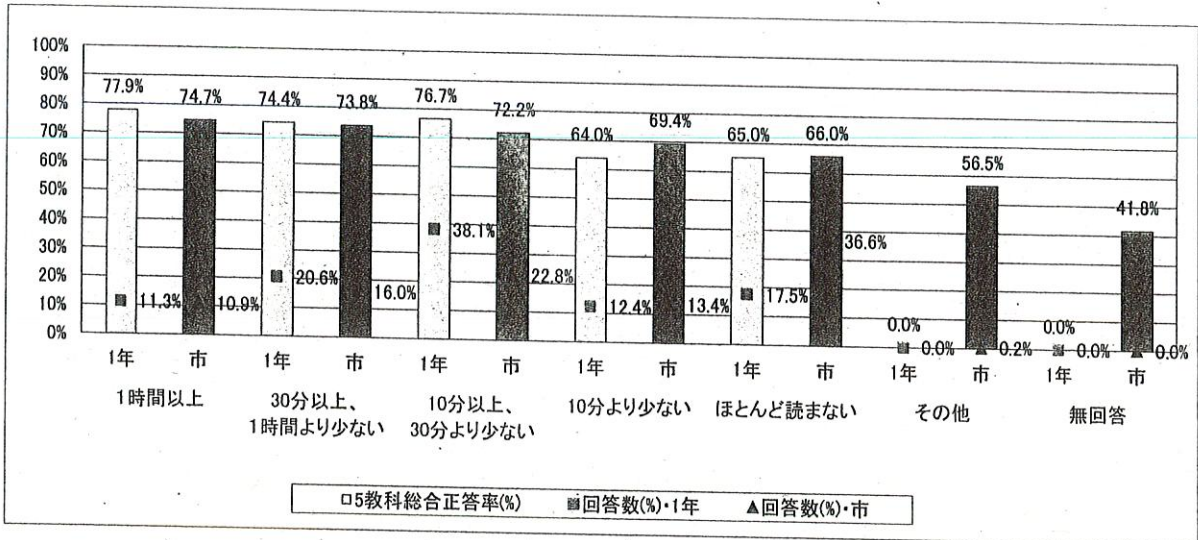
2 一日にどのくらいの時間ねていますか。



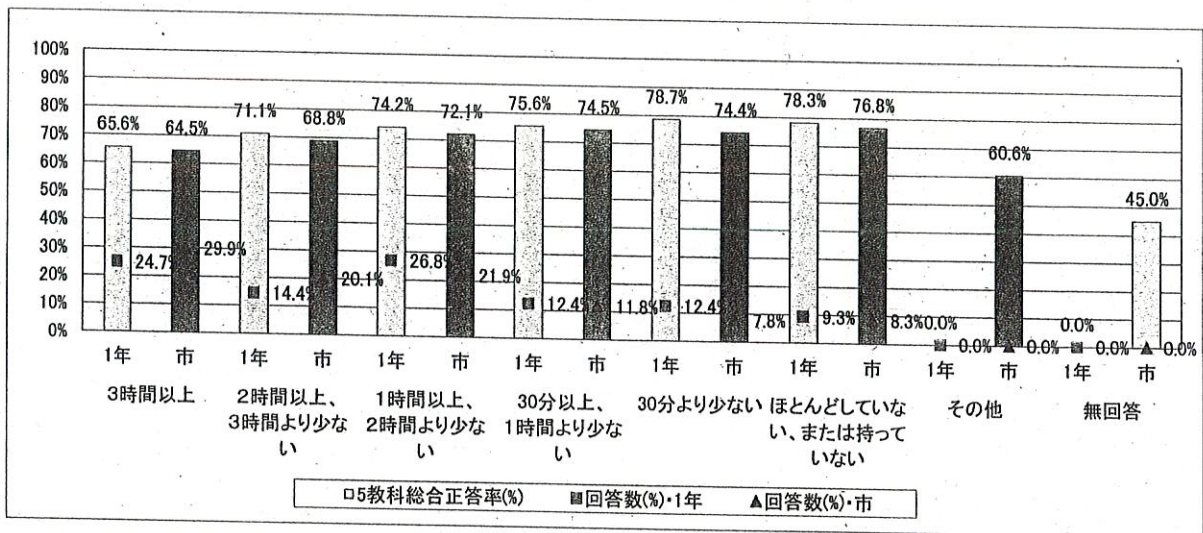
3 一日にどのくらい学習をしますか(じゅくや家庭教師もふくむ)。



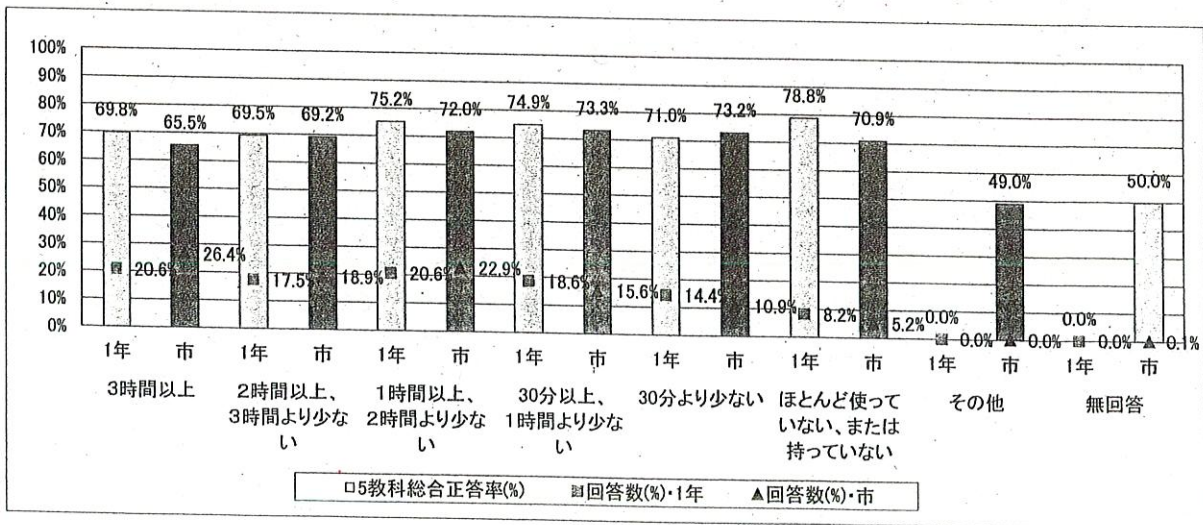
4 一日にどのくらい読書を読みますか(学校での読書もふくむ。電子書せきもふくむ。教科書、参考書、まんが、雑誌はふくまない)。



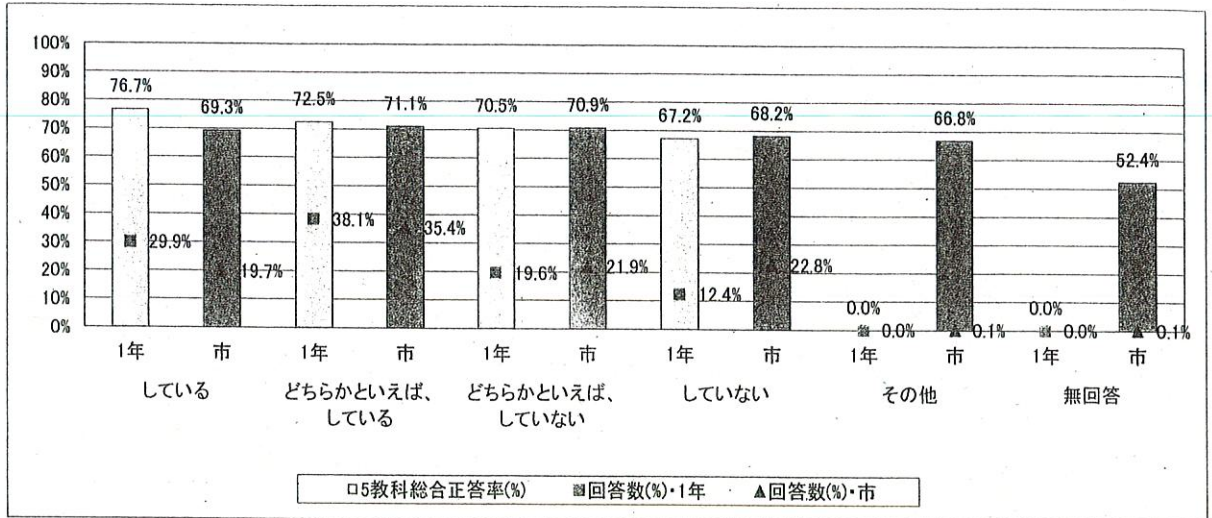
5 一日にどのくらい、ゲーム機器、スマートフォン、タブレット、パソコンなどを使って、ゲームをしていますか。



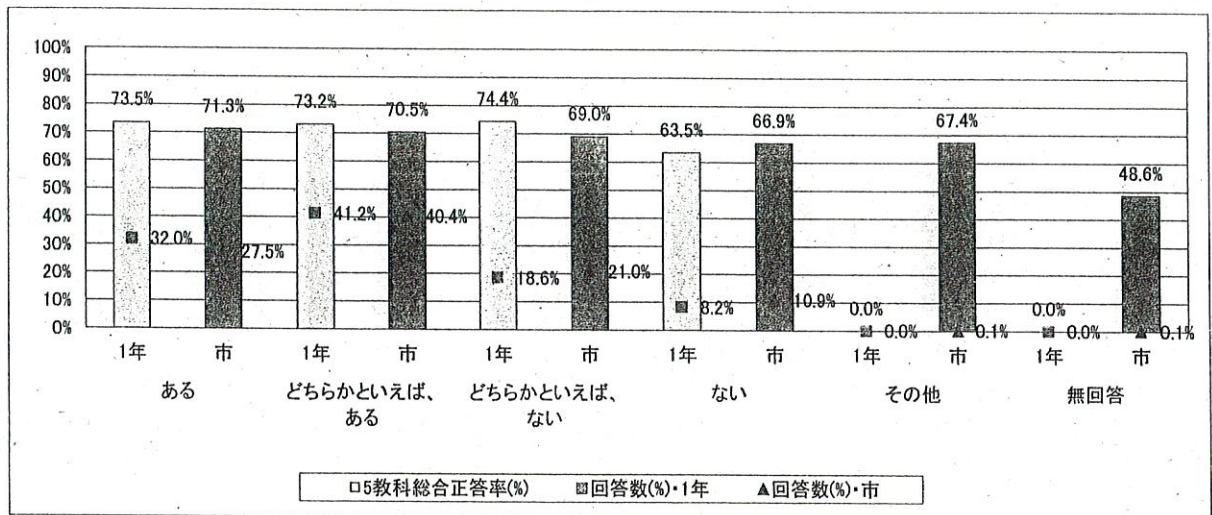
6 家で、一日にどのくらい、けい帯電話、スマートフォン、タブレット、パソコンなどを使っていますか(ゲームをする時間はのぞく)。



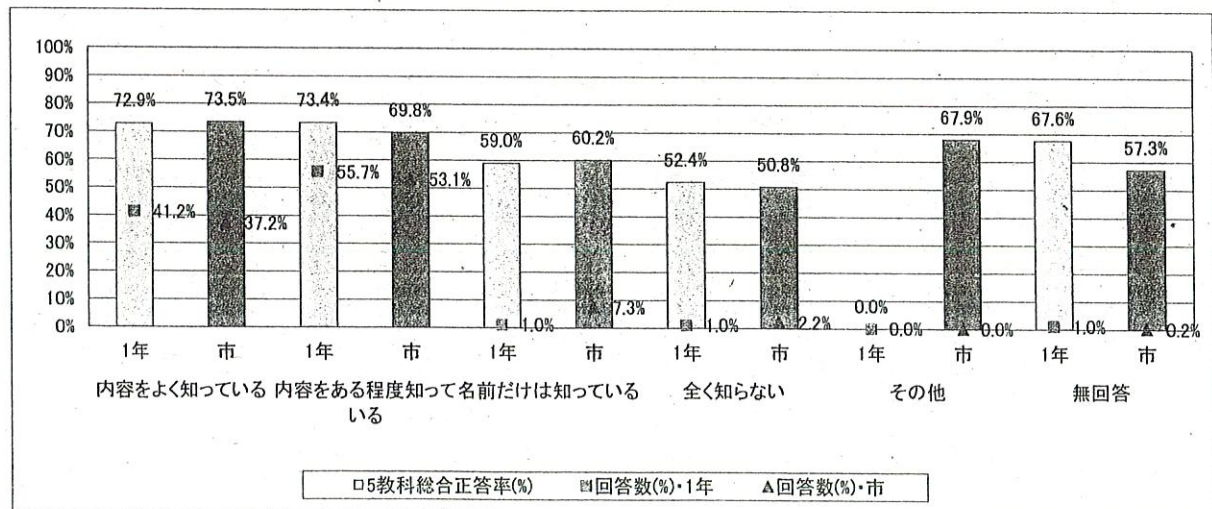
7 地域の行事(お祭り、スポーツ大会、防災訓練、ボランティア活動など)に参加していますか。



8 地域や社会をよりよくするために何をすべきかを考えることがありますか。

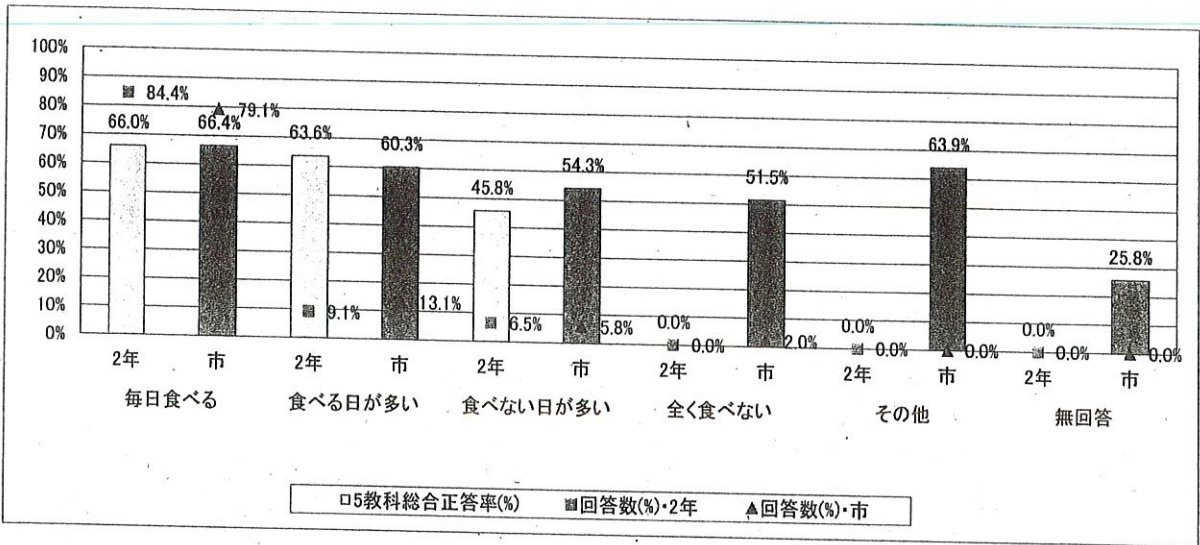


9 【小6、中1の人だけ答えます】SDGs(持続可能な開発のために、世界の国々が2030年までに達成することに同意している17の目標)について、知っていますか。

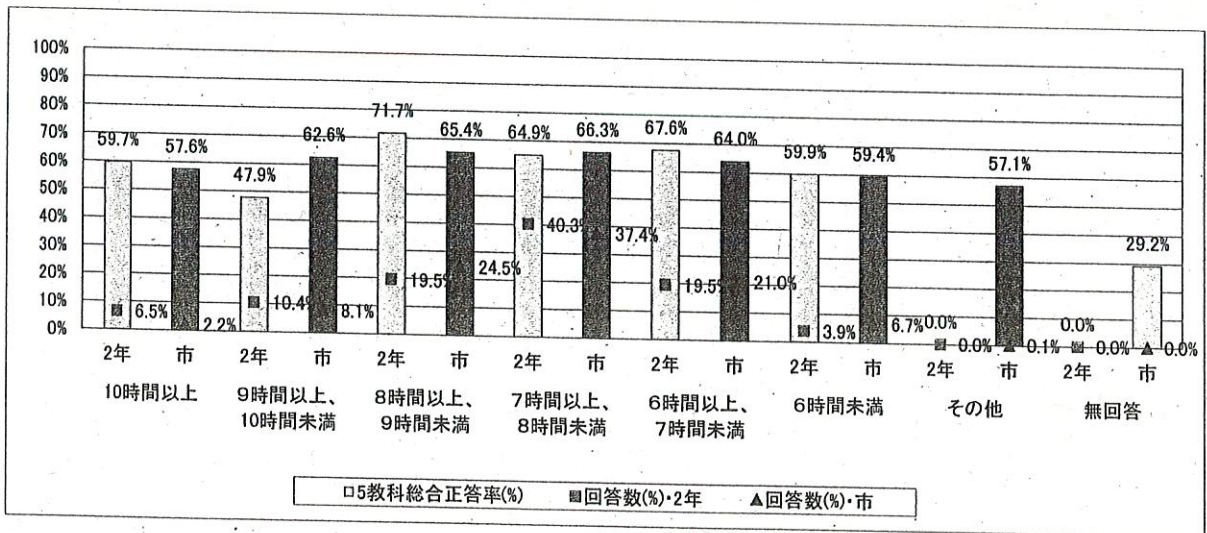


令和5年度 生活意識調査クロス集計 (鴨志田中学校2年)

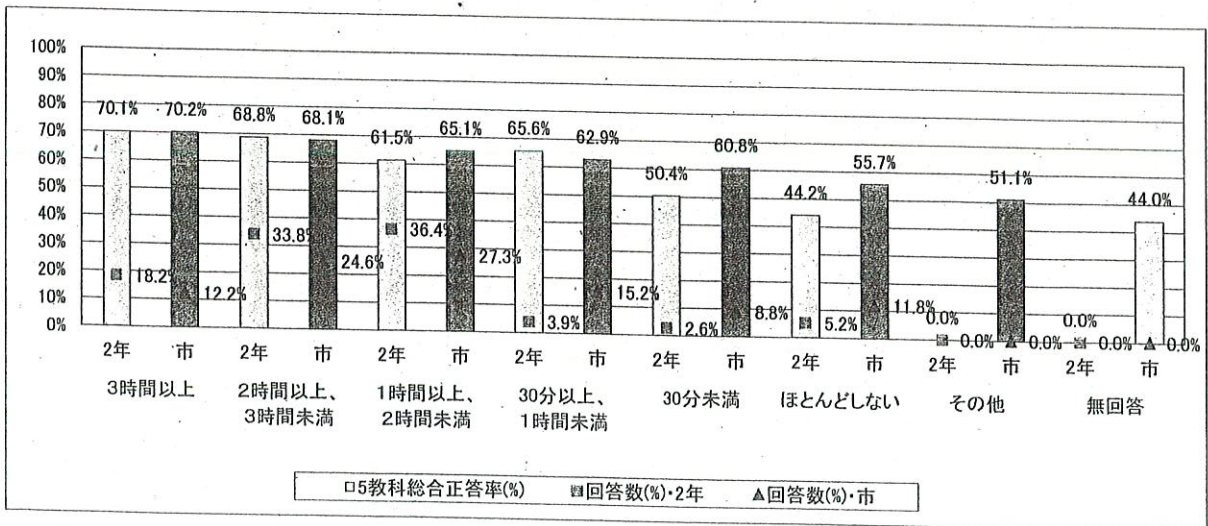
1 朝食を毎日食べていますか。



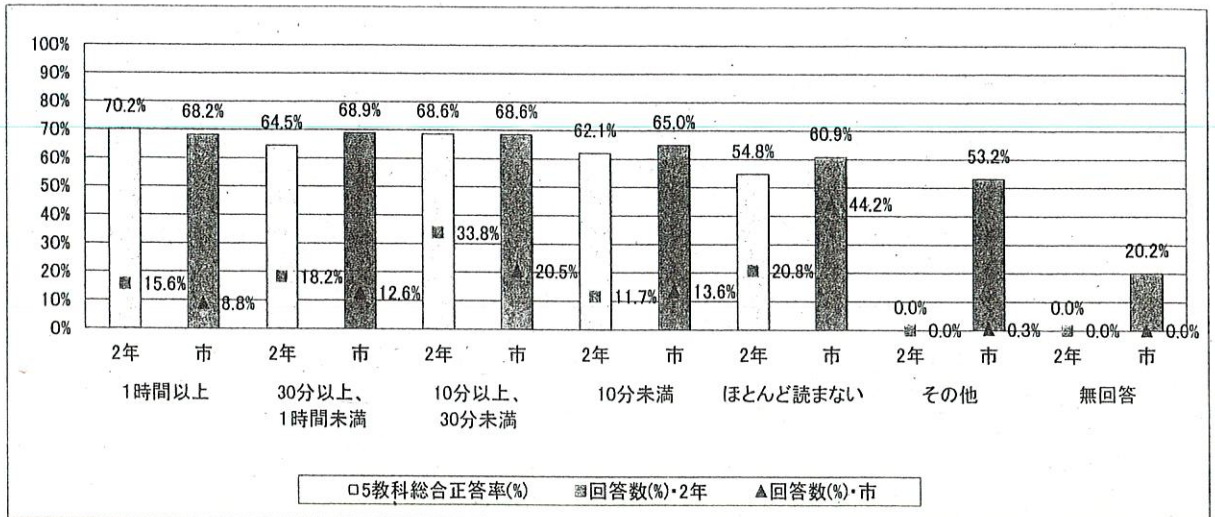
2 一日にどのくらい睡眠時間をとっていますか。



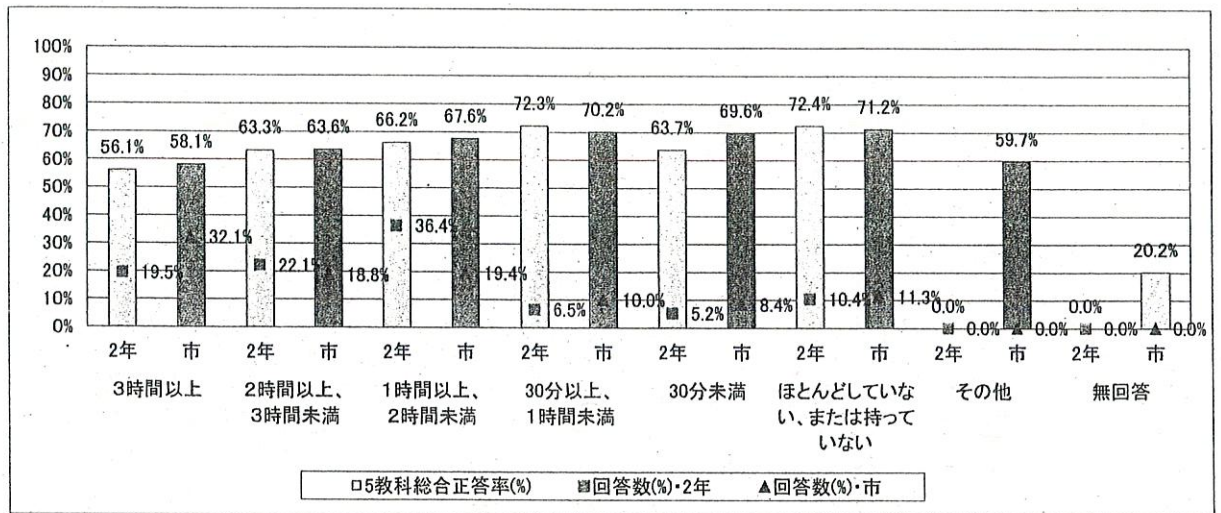
3 一日にどのくらい学習をしますか(塾や家庭教師も含む)。



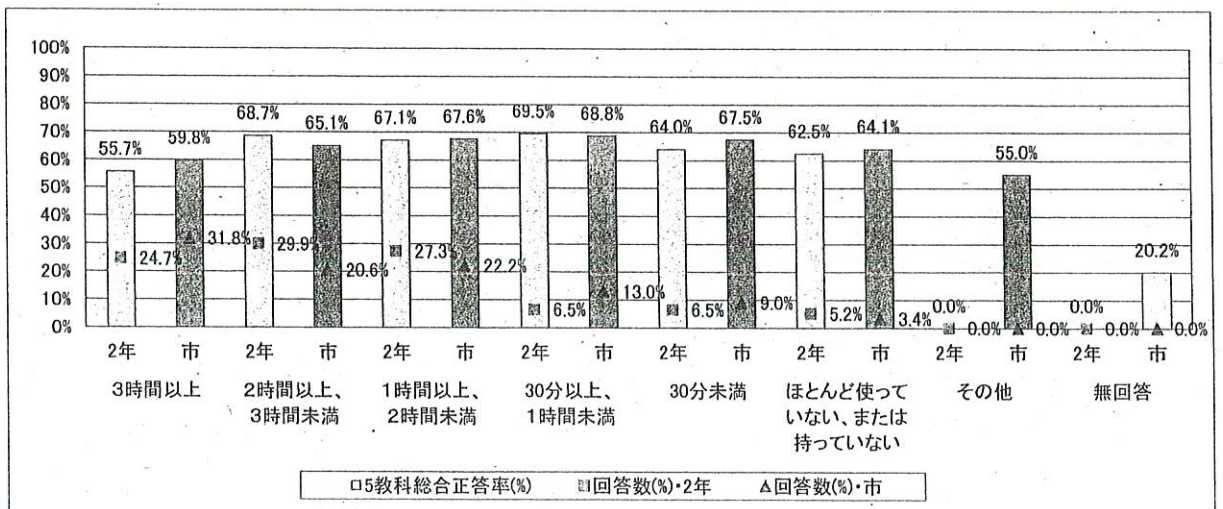
4 一日にどのくらい読書を読みますか(学校での読書も含む。電子書籍も含む。教科書、参考書、漫画、雑誌は含まない)。



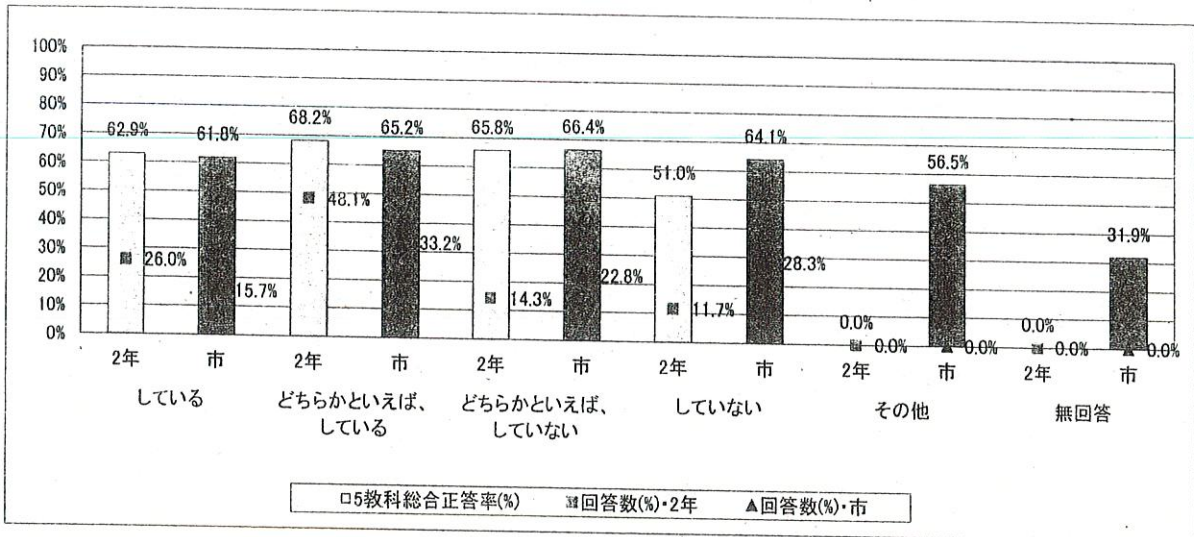
5 一日にどのくらいゲーム機器、スマートフォン、タブレット、パソコンなどを使って、ゲームをしていますか。



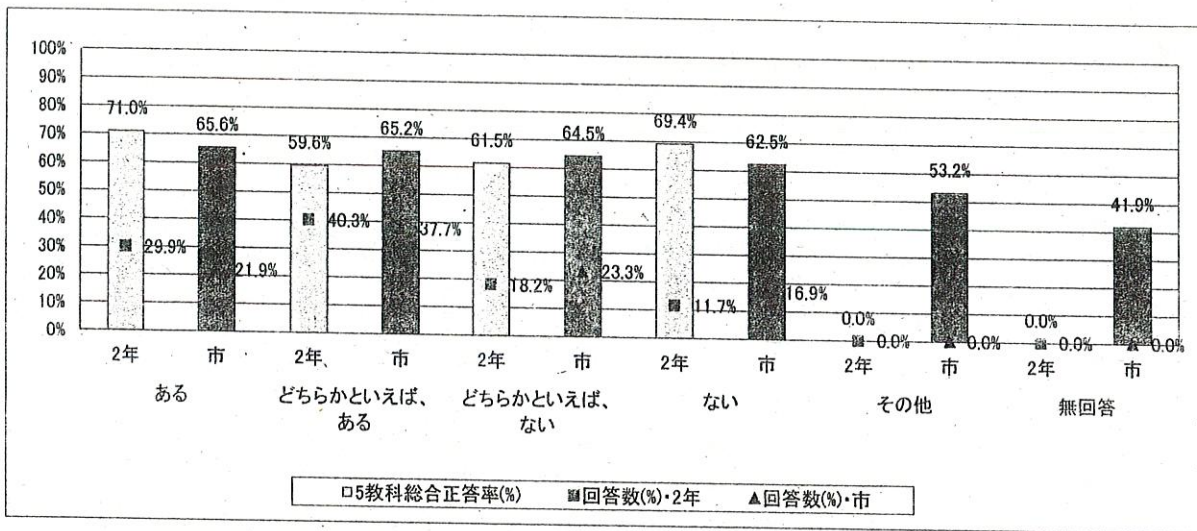
6 家庭で、一日にどのくらい携帯電話、スマートフォン、タブレット、パソコンなどを使っていますか(ゲームをする時間は除く)。



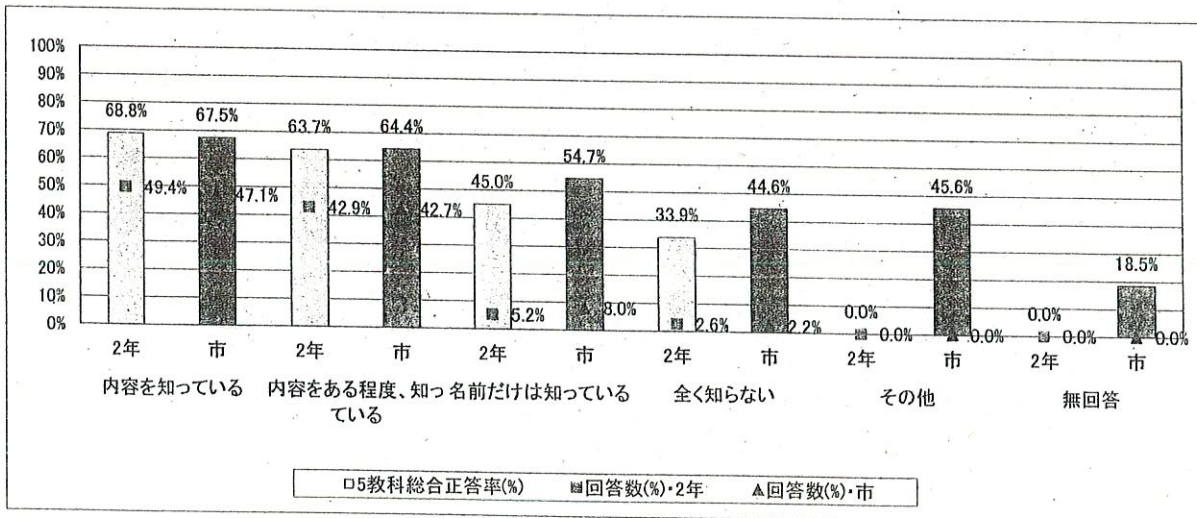
7 地域の行事(お祭り、スポーツ大会、防災訓練、ボランティア活動など)に参加していますか。



8 地域や社会をよりよくするために何をすべきかを考えることがありますか。

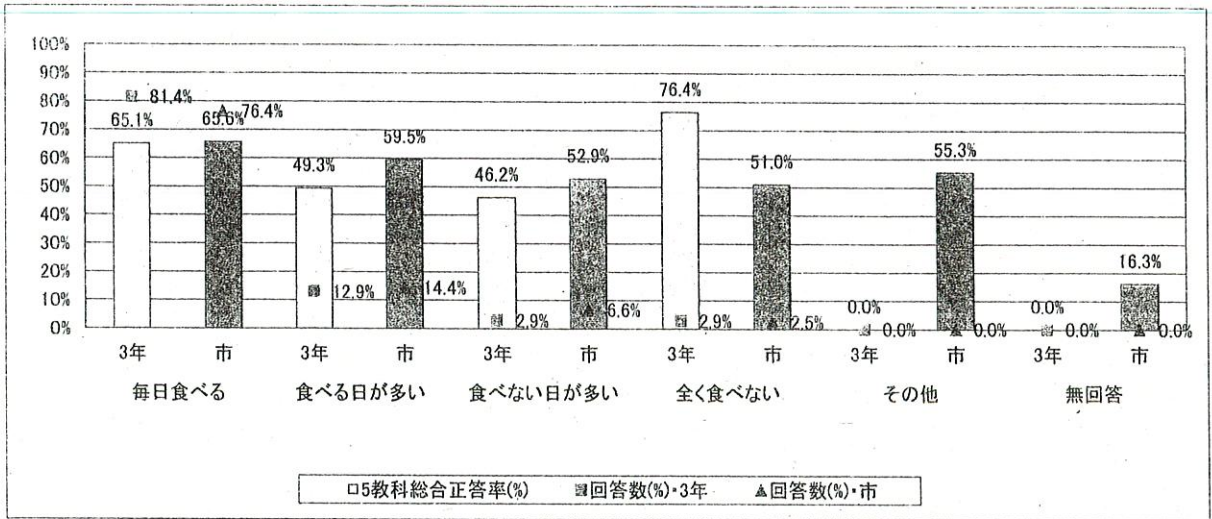


9 SDGs(持続可能な開発のために、世界の国々が2030年までに達成することに同意している17の目標)について、知っていますか。

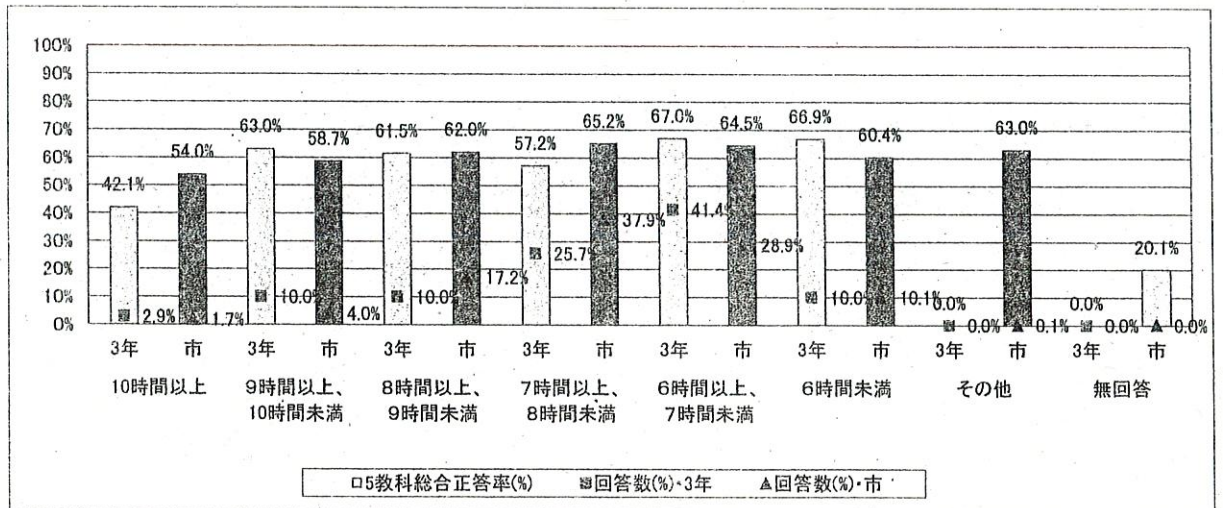


令和5年度 生活意識調査クロス集計（鴨志田中学校3年）

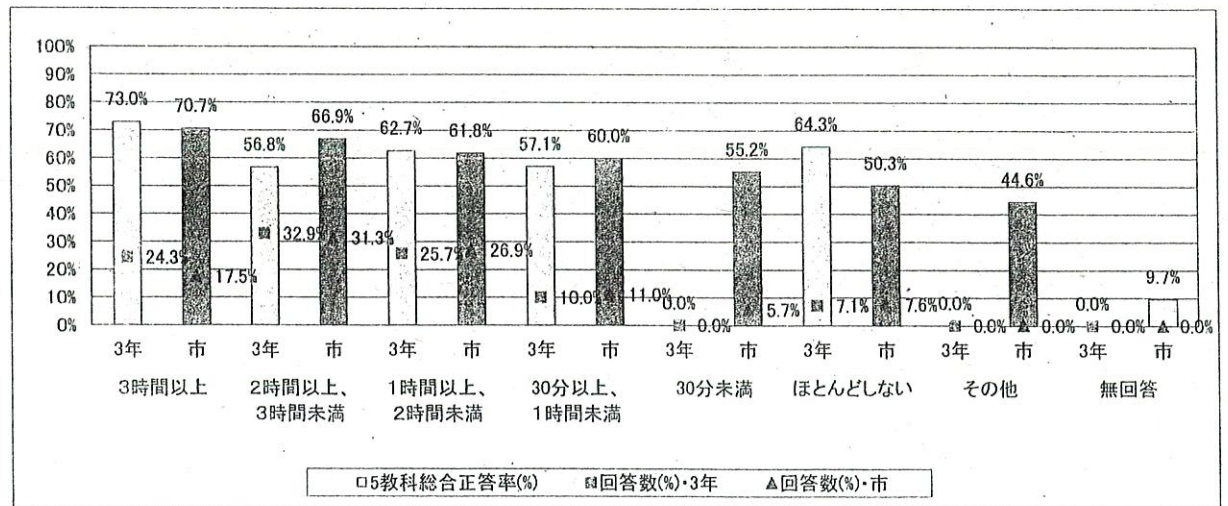
1 朝食を毎日食べていますか。



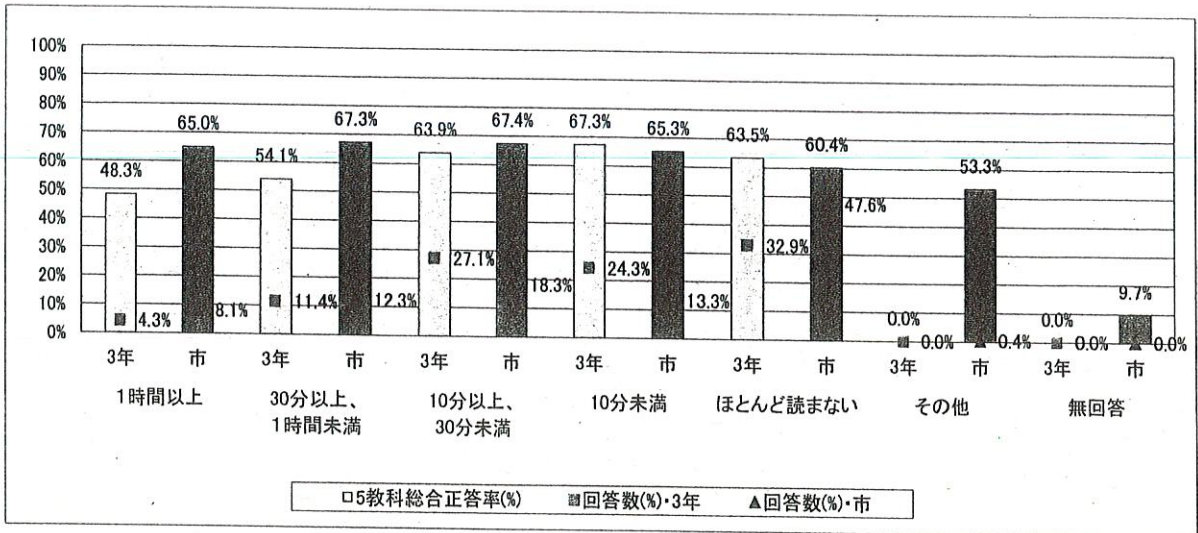
2 一日にどのくらい睡眠時間をとっていますか。



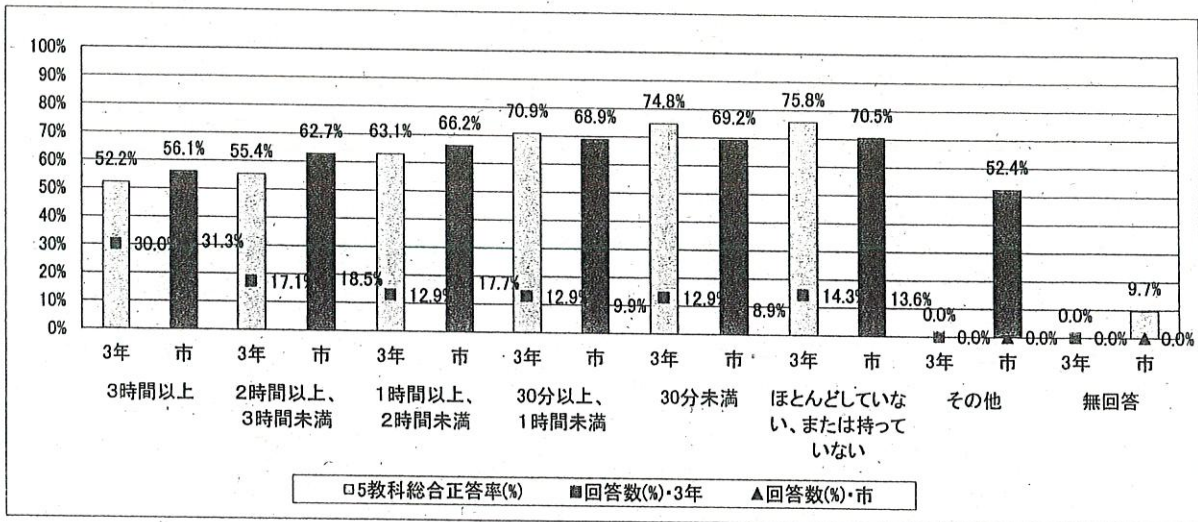
3 一日にどのくらい学習をしますか(塾や家庭教師も含む)。



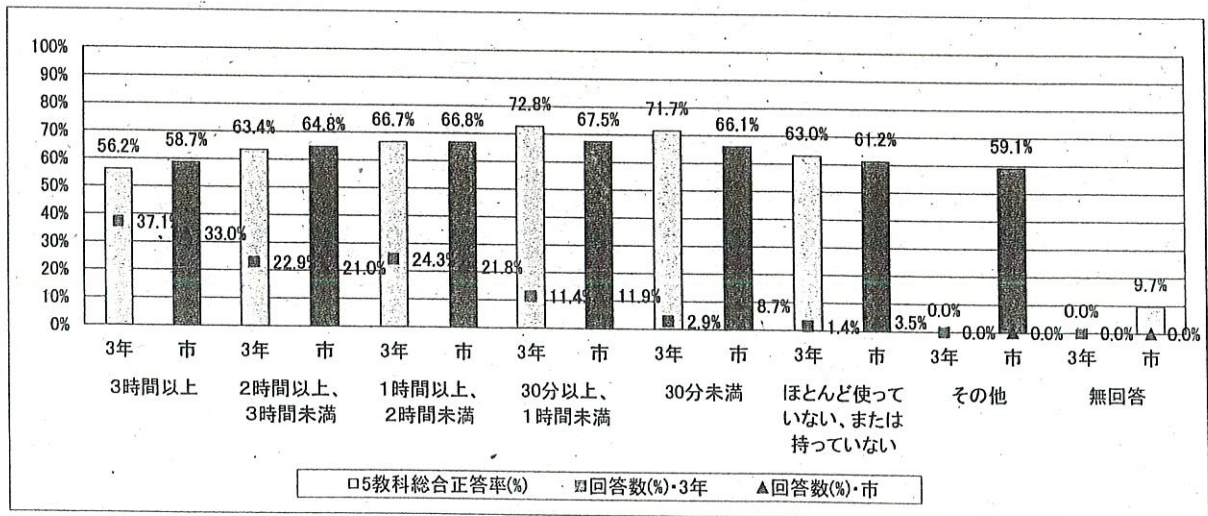
4 一日にどのくらい読書を読みますか(学校での読書も含む。電子書籍も含む。教科書、参考書、漫画、雑誌は含まない)。



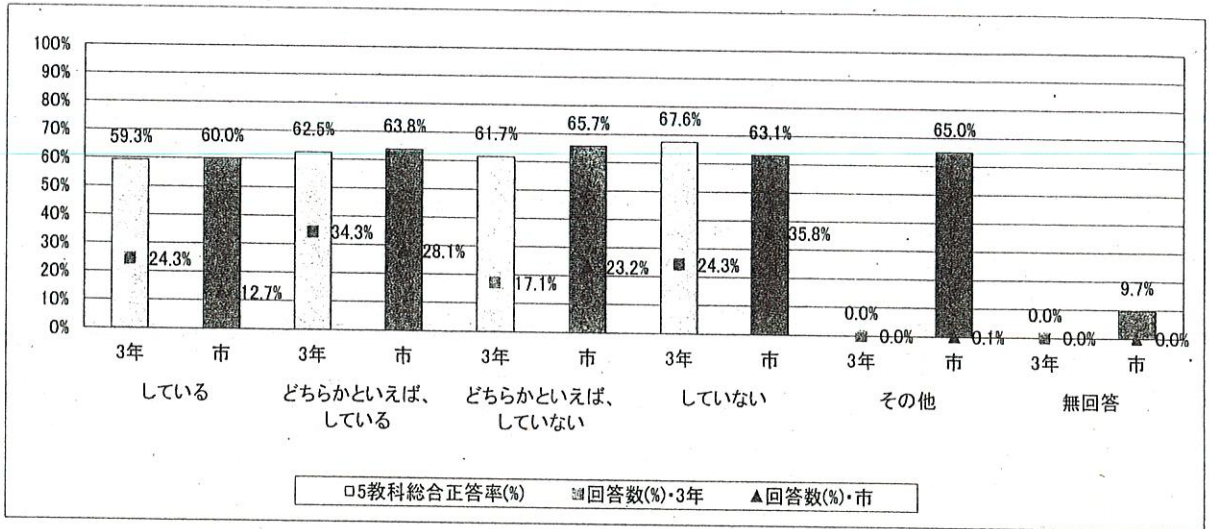
5 一日にどのくらいゲーム機器、スマートフォン、タブレット、パソコンなどを使って、ゲームをしていますか。



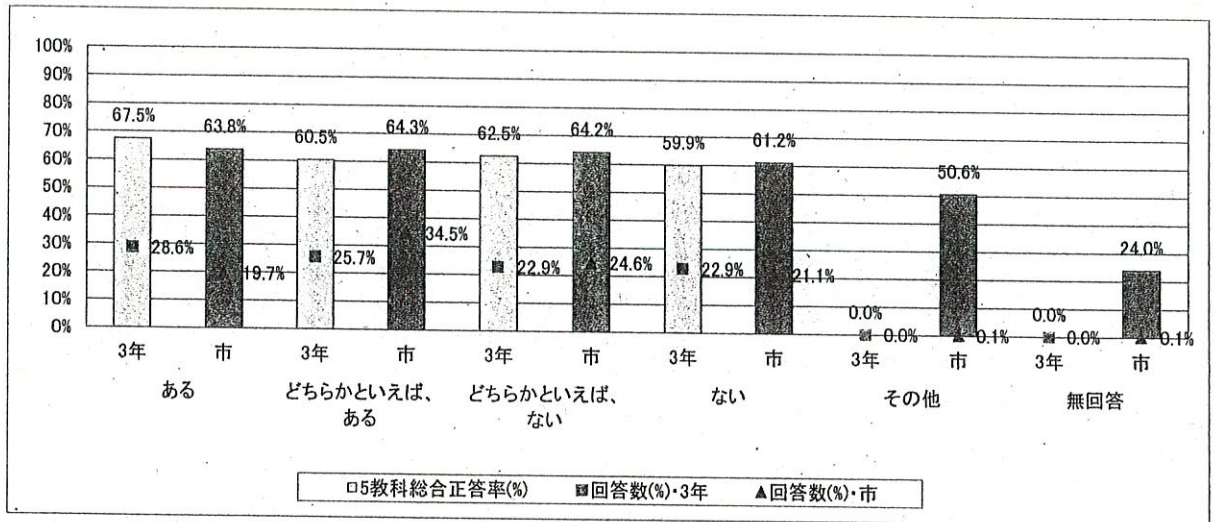
6 家庭で、一日にどのくらい携帯電話、スマートフォン、タブレット、パソコンなどを使っていますか(ゲームをする時間は除く)。



7 地域の行事(お祭り、スポーツ大会、防災訓練、ボランティア活動など)に参加していますか。



8 地域や社会をよりよくするために何をすべきかを考えることがありますか。



9 SDGs(持続可能な開発のために、世界の国々が2030年までに達成することに同意している17の目標)について、知っていますか。

